

平成 28 年 11 月  
総務省統計局国勢統計課

## 「平成27年国勢調査に関するアンケート」結果の概要

本資料は、平成27年国勢調査の実施状況の評価を行うことを目的に、平成27年国勢調査事後調査（調査期日：平成27年11月20日）と同時実施した「平成27年国勢調査に関するアンケート」の集計結果を取りまとめたものである。

### I アンケートの概要、回答者属性

#### 1 目的・概要等

平成27年国勢調査（以下、「本体調査」という。）における世帯の意見等を聴取し、今後の国勢調査の企画の参考資料を得るため、平成27年国勢調査事後調査（以下、「事後調査」という。）の調査対象世帯に対して、総務省統計局が世帯から郵送により直接回収する方法によりアンケートを実施した。概要は下記のとおり。

##### ○ 国勢調査における広報等の効果測定

本体調査の実施において、我が国に居住する世帯への周知を行うため、国、地方公共団体において様々な広報等を実施してきた。今後の効果的な広報戦略の方向性を検討するため、その効果を検証する。

##### ○ 調査方法の検証

本体調査では、オンライン調査の全国展開、郵送提出の市町村ごとの選択制、調査票の調査員への提出は任意封入方式の採用など、新たな調査方法を導入した。調査票の提出方法に係る導入、世帯からの意見を検証する。

#### 2 回答数、回答者属性

- アンケートの回答総数は17,934件で、事後調査の対象世帯数（約34,757世帯）に占める回答率は49.0%であった。
- 回答者を男女別にみると、男性が8,150件、女性が8,279件となっている。また、年齢階級別にみると、70歳以上が3,951件と最も多く、次いで60歳代（3,744件）、50歳代（2,988件）となっており、50歳以上の回答者が半数を超えている。【図表 1】

図表 1 回答者属性（男女、年齢階級）

年齢階級	男女	(実数)				(構成比)			
		総数	男	女	不詳	総数	男	女	不詳
総数		17,934	8,150	8,279	1,505	100.0	100.0	100.0	100.0
20歳未満		69	39	30	0	0.4	0.5	0.4	0.0
20歳代		843	387	455	1	4.7	4.7	5.5	0.1
30歳代		1,969	839	1,126	4	11.0	10.3	13.6	0.3
40歳代		2,903	1,297	1,588	18	16.2	15.9	19.2	1.2
50歳代		2,988	1,452	1,501	35	16.7	17.8	18.1	2.3
60歳代		3,744	2,053	1,645	46	20.9	25.2	19.9	3.1
70歳以上		3,951	2,003	1,836	112	22.0	24.6	22.2	7.4
不詳		1,467	80	98	1,289	8.2	1.0	1.2	85.6

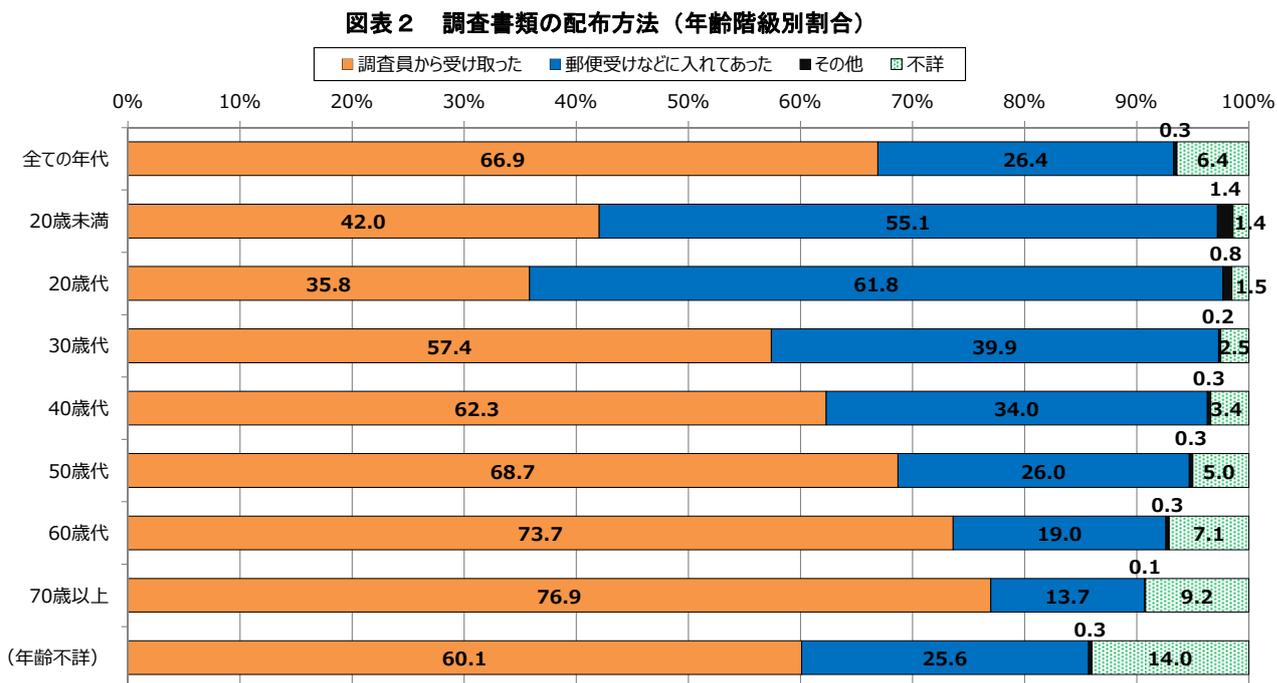
## Ⅱ アンケートの集計結果

### 1 調査関係書類の配布方法

#### (1) 回答者の年齢階級

調査関係書類の配布方法についてみると、「調査員から受け取った」が66.9%と最も高く、次いで「郵便受けなどに入れてあった」が26.4%となった。

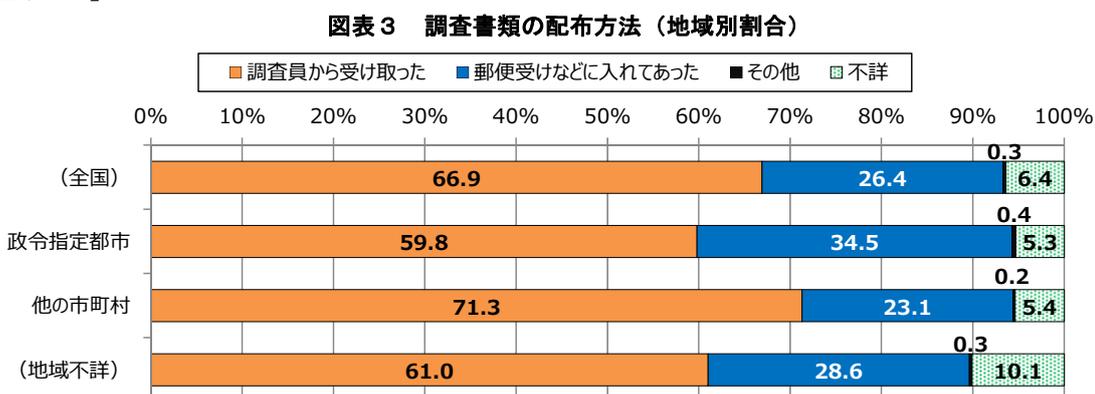
これを年齢階級別にみると、回答者が29歳以下の世帯では「郵便受けなどに入れてあった」の割合が半数以上を占めており（20歳未満：55.1%、20歳代：61.8%）、通勤・通学などにより在宅時間が短いことなどが要因として考えられる。一方、回答者が30歳以上の世帯では「調査員から受け取った」の割合が半数以上を占めている。【図表2】



#### (2) 政令指定都市と他の市町村における配布方法の傾向の違い

調査関係書類の配布方法について、政令指定都市と他の市町村とでその傾向を比べてみると、どちらも「調査員から受け取った」が多数を占めているが、政令指定都市では「郵便受けなどに入れてあった」の割合が他の市区町村よりも高くなっている。

【図表3】

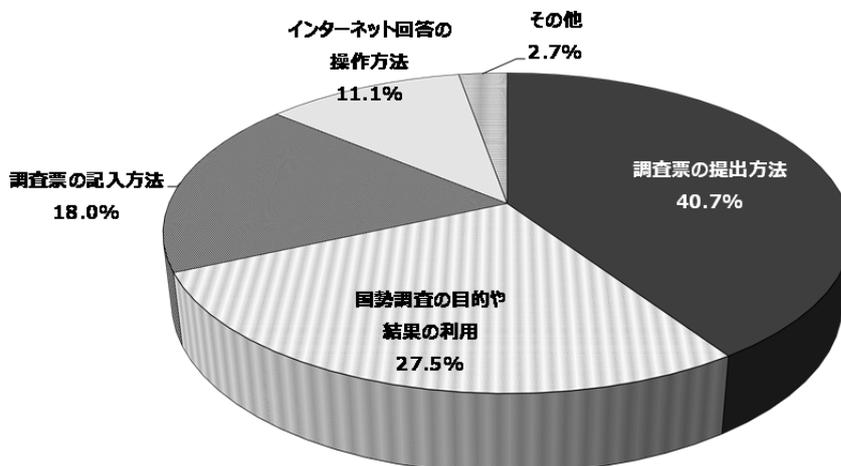


### (3) 調査員から説明を受けた事項（調査書類を調査員から受け取った者）

調査書類を調査員から直接受け取った世帯について、調査員から訪問時に説明を受けた事項をみると、「調査票の提出方法」が40.7%と最も高く、次いで「国勢調査の目的や結果の利用」（27.5%）、「調査票の記入方法」（18.0%）などとなっている。

【図表4】

図表4 調査員から説明を受けた事項（調査書類を調査員から受け取った者）【複数回答あり】

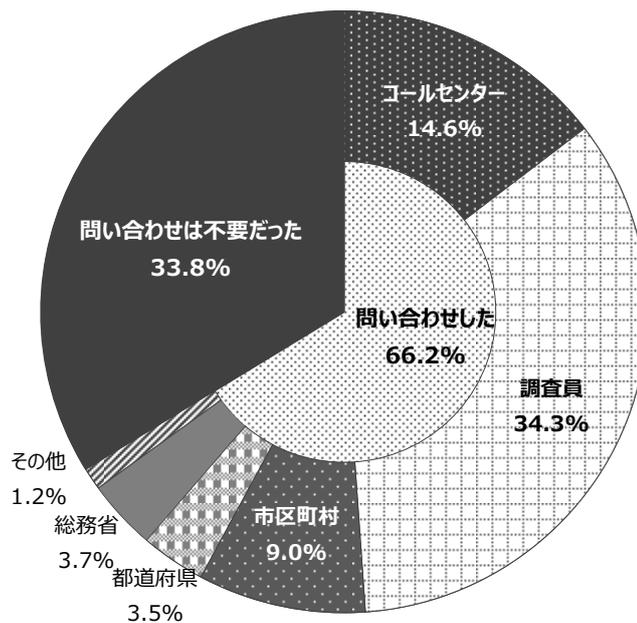


## 2 調査に関する問い合わせ

### (1) 問い合わせの有無，問い合わせ先について

調査に関する問合せの有無についてみると、「問い合わせした」世帯が66.2%、「問い合わせは不要だった」世帯が33.8%となっている。「問い合わせした」世帯について、問い合わせ先をみると、「調査員」が34.3%と最も高く、次いで「コールセンター」（14.6%）、「市区町村」（9.0%）などとなっている。【図表5】

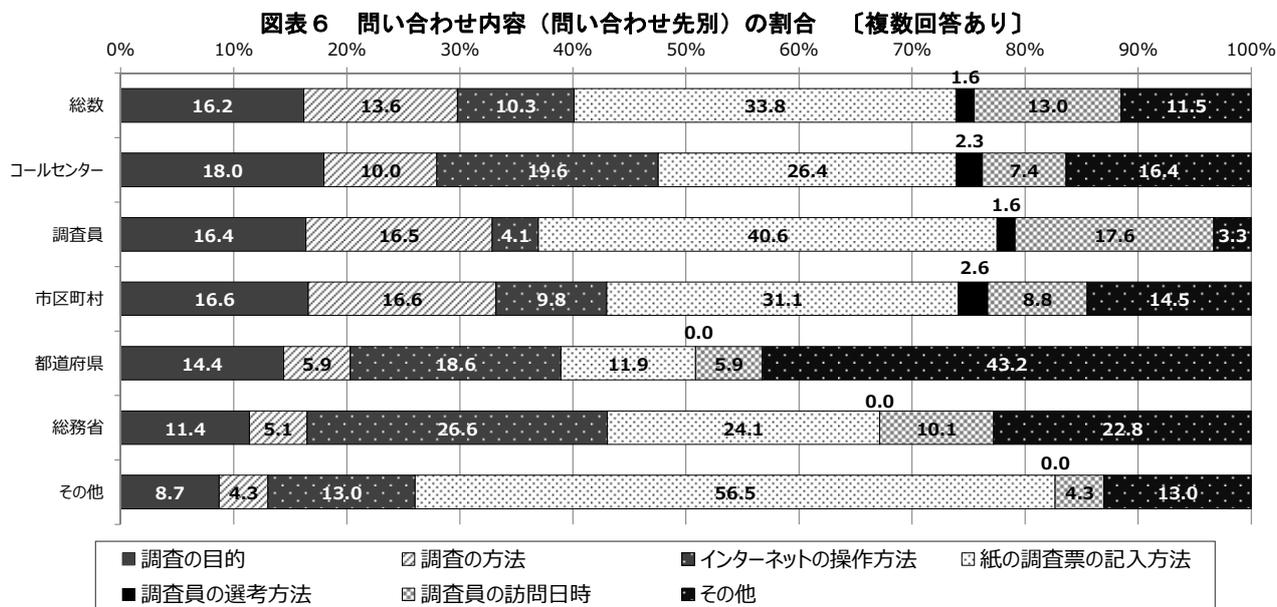
図表5 調査に関する問合せの有無，問い合わせ先の割合【複数回答あり】



## (2) 問い合わせ内容

問い合わせ内容についてみると、「紙の調査票の記入方法」が33.8%と最も高く、次いで「調査の目的」(16.2%)、「調査の方法」(13.6%) などとなっている。

これを問い合わせ先別にみると、コールセンターでは「インターネットの操作方法」(19.6%) が他の問い合わせ先と比べ高くなっている。また、調査員では「紙の調査票の記入の記入方法」(40.6%) がおよそ4割を占めている。【図表6】

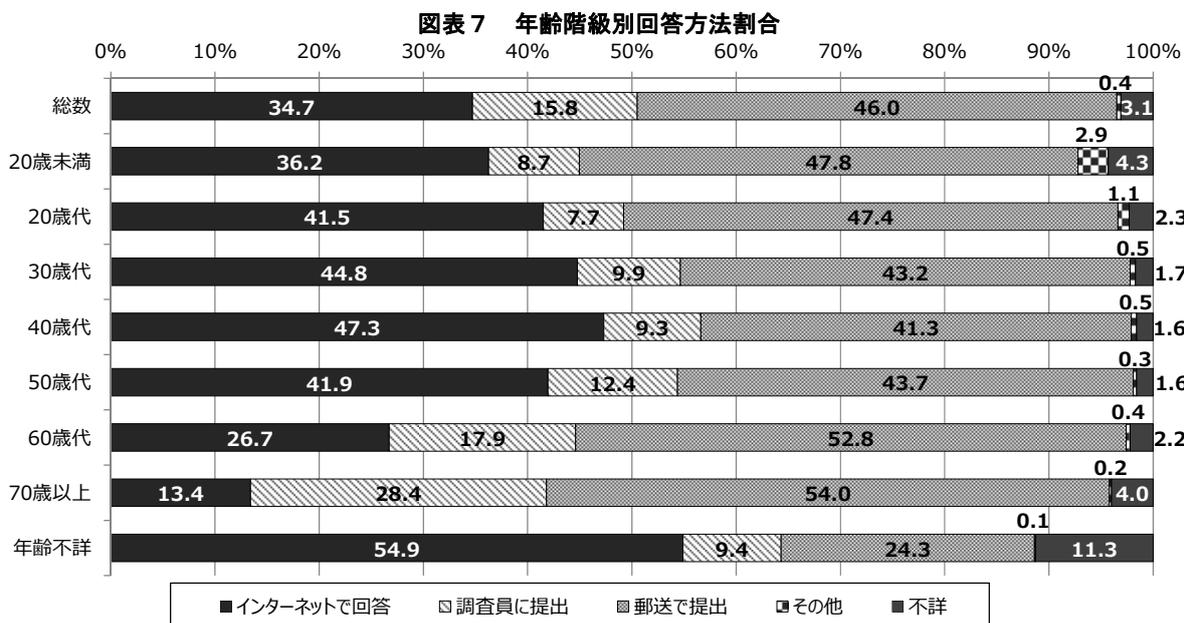


## 3 調査の回答方法

### (1) 年代による回答方法の傾向

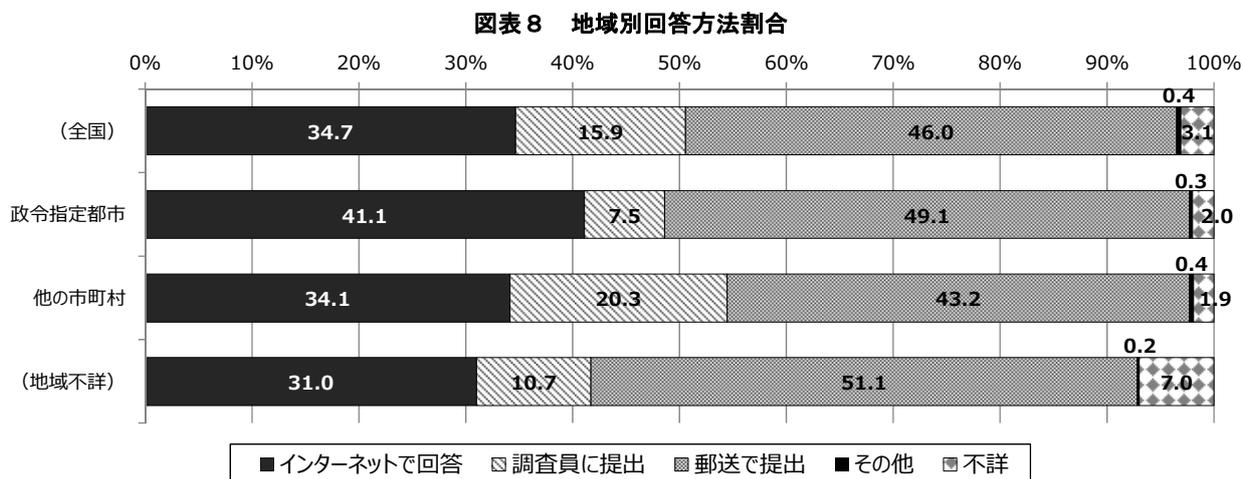
国勢調査への回答方法を年齢階級別にみると、20歳代～50歳代の世帯で「インターネットで回答」した世帯が4割を超えている。一方、60歳以上の世帯では、「調査員に提出」と「郵送で提出」を足した紙の調査票で回答した世帯が7割を超えている。

【図表7】



## (2) 政令指定都市と他の市町村における回答方法の傾向

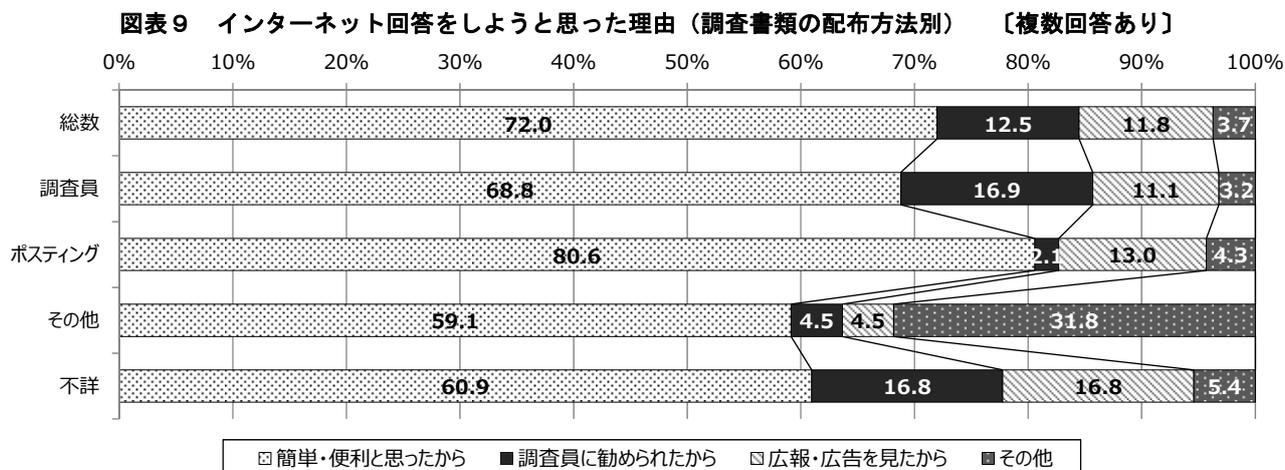
回答方法について、政令指定都市と他の市町村と比べてみると、政令指定都市においては、調査員が直接回収しない、「インターネットで回答」(41.1%)、「郵送で提出」(49.1%)の割合が非常に高くなっている。一方、他の市町村では、「調査員に提出」の割合(20.3%)が政令指定都市のおよそ3倍となっており、調査員が直接回収するスタイルが今なお機能していると言える。【図表8】



## (3) インターネット回答をしようと思った理由（インターネット回答した者）

インターネット回答した者について、インターネット回答をしようと思った理由をみると、「簡単・便利と思ったから」が72.0%と最も高くなっている。

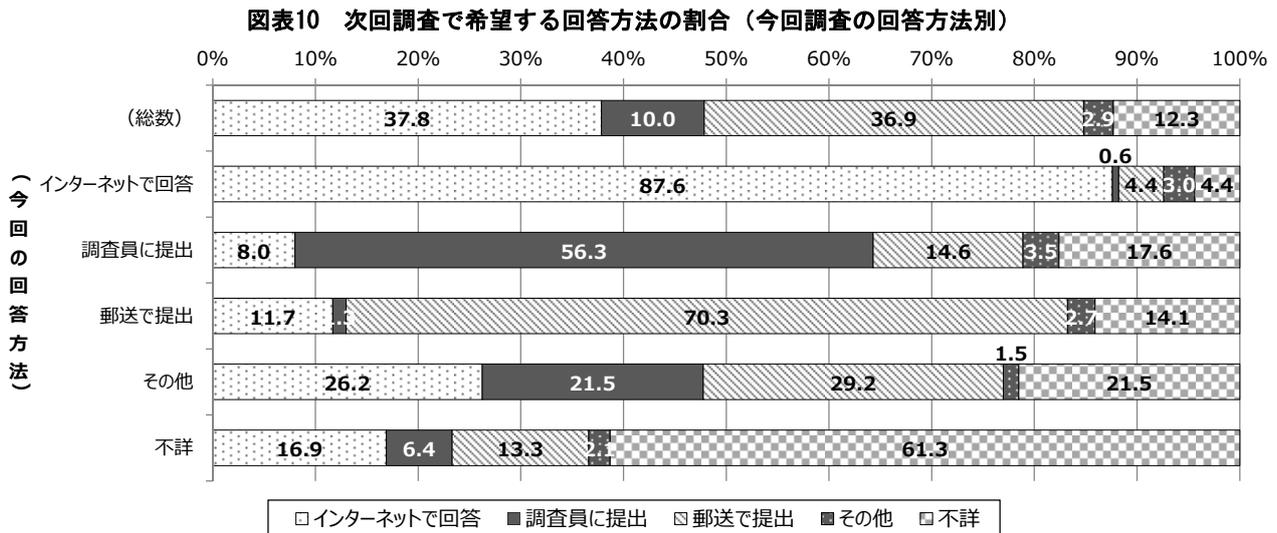
これを調査書類の配布方法別にみると、いずれの方法でも「簡単・便利と思ったから」が多数を占めているが、調査員から直接配布された場合、「調査員に勧められたから」が16.9%と他の方法よりも割合が高くなっている。このことから、インターネット回答に関心の低い世帯に対しては、調査員による声かけや一押しが効果的であると考えられる。【図表9】



#### (4) 次回調査で希望する回答方法

次回の国勢調査の回答方法についてみると、「インターネットで回答」が37.8%、「郵送で提出」が36.9%で拮抗している。

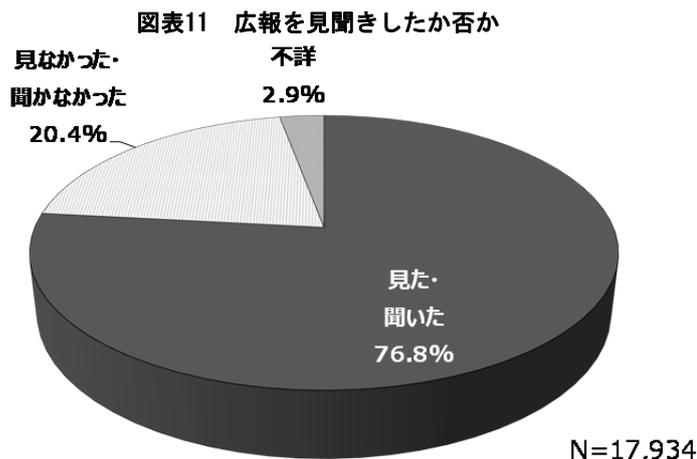
これを今回の回答方法別にみると、いずれの回答方法も、今回と同じ方法で回答を希望する世帯が多くを占めている。なお、今回の回答方法が「調査員に提出」と「郵送で提出」には、一部態度を決めかねている世帯（「その他」と回答した世帯）が2割弱存在している。【図表10】



#### 4 広報について

##### (1) 広報を見聞きしたか否か

総務省統計局及び都道府県・市区町村において実施した国勢調査に係る広報についてみると、76.8%の世帯が広報を「見た・聞いた」と回答している。【図表11】



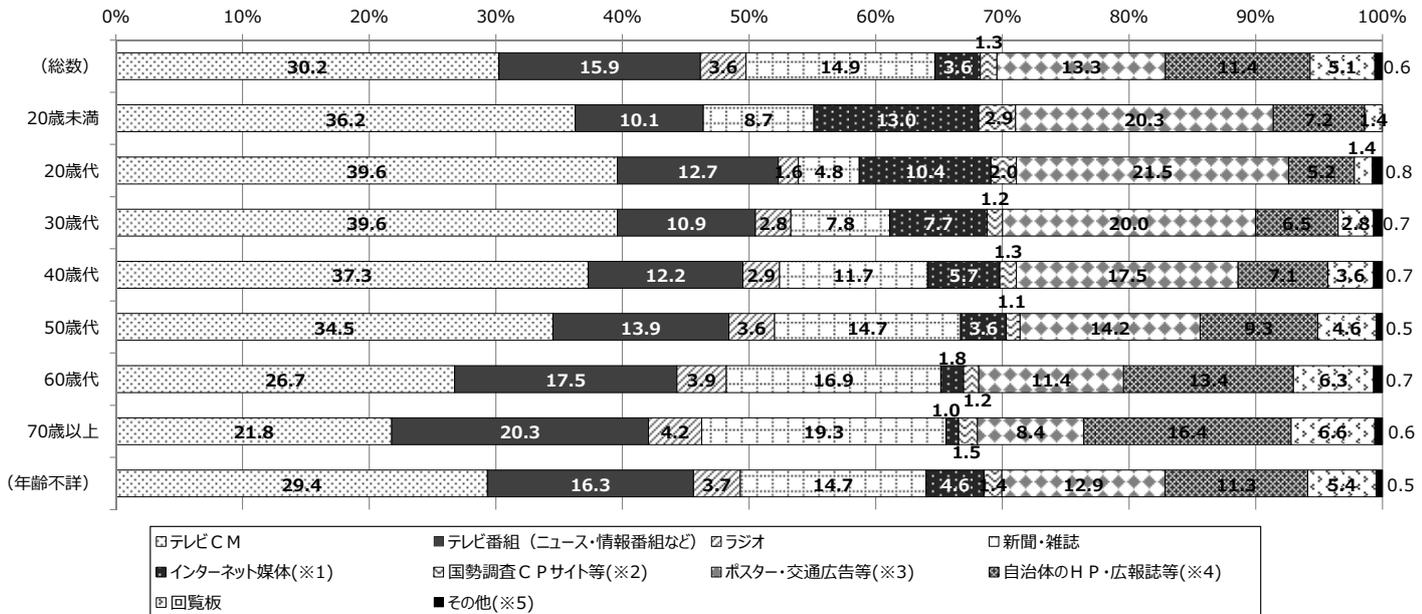
##### (2) 見聞きした広報の種類（広報を見聞きした者）

広報を「見た・聞いた」世帯について、見聞きした広報の種類（媒体）をみると、「テレビCM」が30.2%と見聞きした世帯の割合が最も高くなっている。次いで、「テレビ番組（ニュース・情報番組など）」が15.9%、「新聞・雑誌」が14.9%などとなっ

ている。

これを年齢階級別にみると、すべての年代で「テレビCM」と「テレビ番組（ニュース・情報番組など）」を合わせた割合がおよそ半数を占めているが、若年層（20歳未満，20歳代）では、他の年代に比べ「インターネット媒体」の割合が高くなっている。また、年齢が高くなるにつれて「新聞・雑誌」の割合が高くなり、逆に年齢が低くなるにつれて「ポスター・交通広告」の割合が高くなる傾向が見られる。【図表12】

図表12 見聞きした広報の種類別の割合（年齢階級別）【複数回答あり】

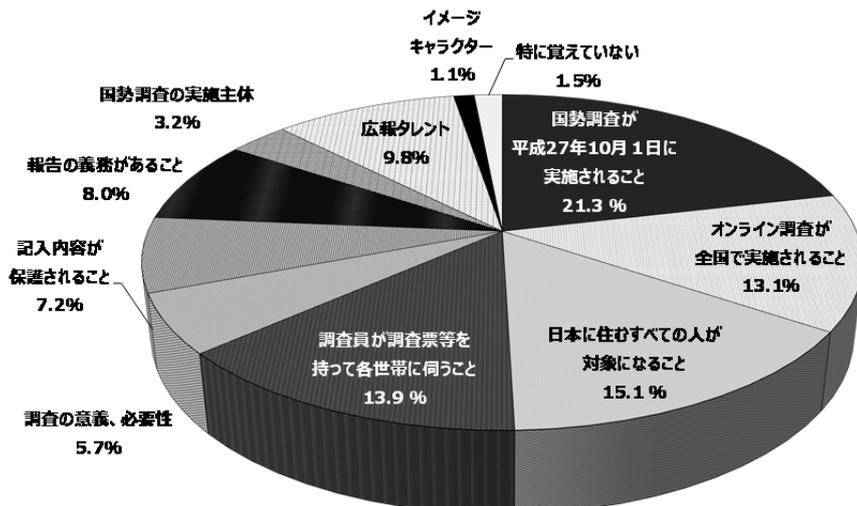


※1「インターネット媒体」は、インターネット広告、Web上の記事・番組を指す。※2「国勢調査CPサイト等」は、国勢調査キャンペーンサイト、Facebook、ブログを指す。※3「ポスター・交通広告等」は、街頭・掲示板、勤務先・通学先に掲示されているポスターを含む。※4「自治体のHP・広報誌等」には、垂れ幕や横断幕（自治体で実施したもの）を含む。※5「その他」には、街頭イベントを含む。

### (3) 見聞きした広報で覚えている事柄（広報を見聞きした者）

広報を「見た・聞いた」世帯について、見聞きした広報で覚えている事柄（印象に残った内容）をみると、「国勢調査が平成27年10月1日に実施されること」が21.3%と最も高く、次いで「日本に住むすべての人が対象になること」（15.1%）、「調査員が調査票等を持って各世帯に伺うこと」（13.9%）などとなっている。【図表13】

図表13 見聞きした広報で覚えている事柄の割合（広報を見聞きした者）【複数回答あり】

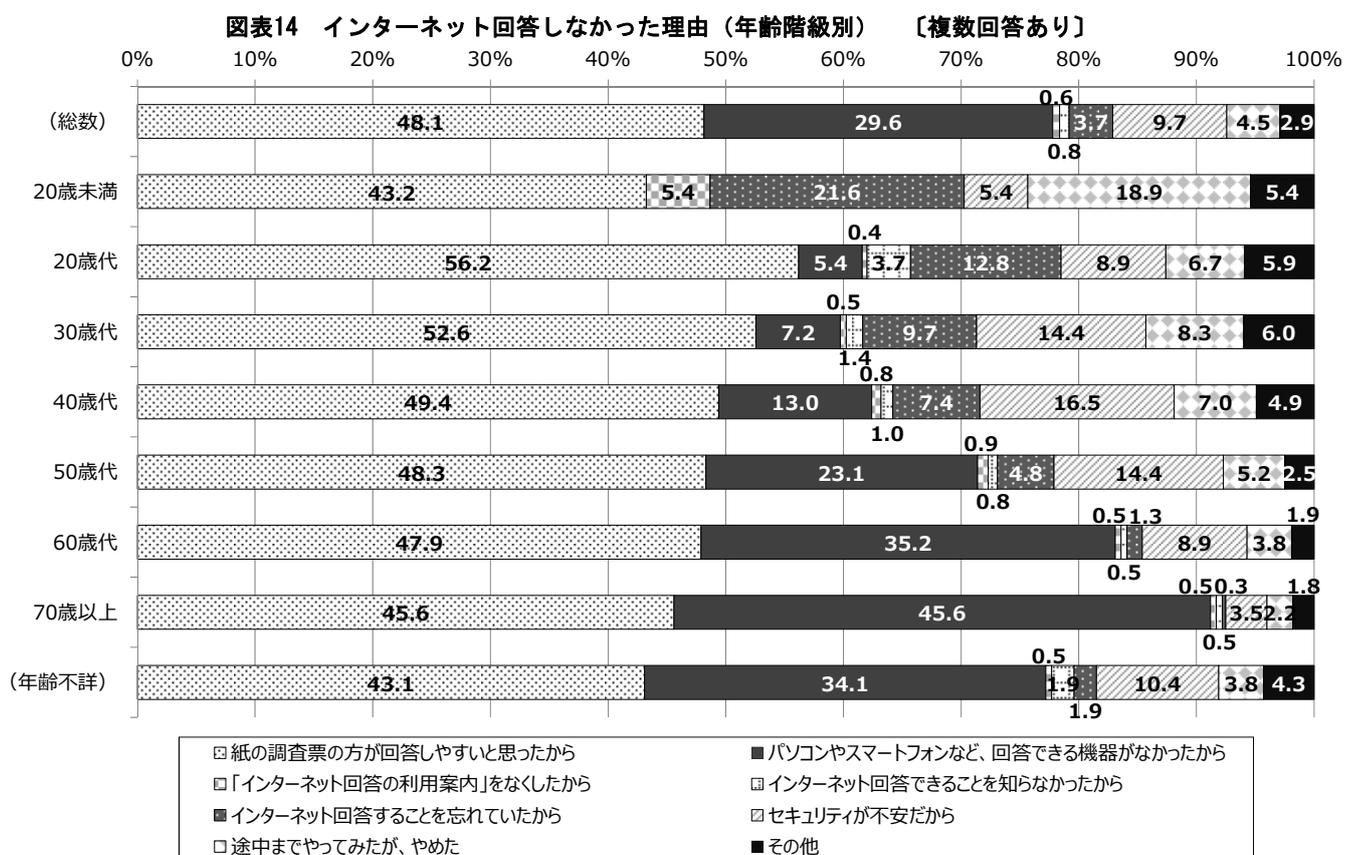


## 5 インターネット回答への意識について（インターネット回答しなかった者）

### (1) インターネット回答しなかった理由

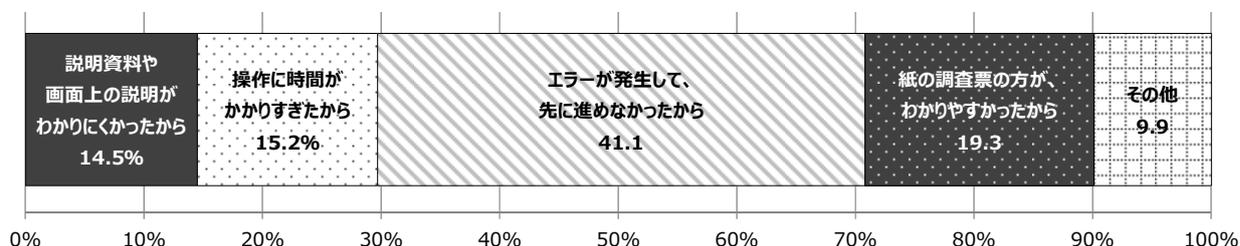
○ インターネットで回答しなかった世帯について、その理由をみると、「紙の調査票のほうが回答しやすいと思ったから」が48.1%と最も高く、次いで「パソコンやスマートフォンなど、回答できる機器がなかったから」（29.6%）、「セキュリティが不安だから」（9.7%）などとなっている。

これを年齢階級別にみると、20歳未満の世帯では「インターネット回答することを忘れていたから」（21.6%）が他の年代よりも割合が高くなっている。また、年齢が高くなるにつれて「パソコンやスマートフォンなど、回答できる機器がなかったから」の割合が高くなっている。【図表14】



○ 「途中までやってみたが、やめた」と回答した者について、その理由をみると、「エラーが発生して、先に進めなかったから」が41.1%と最も多く、次いで「紙の調査票の方がわかりやすかったから」（19.3%）、「操作に時間がかかりすぎたから」（15.2%）などとなっている。【図表15】

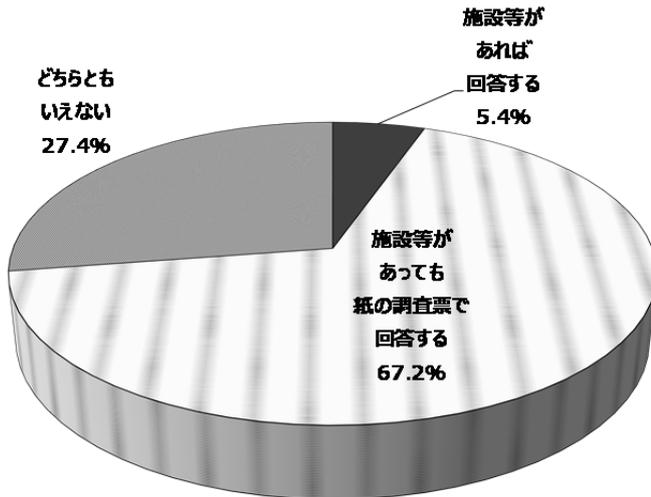
**図表15 インターネット回答を途中で止めた理由（インターネット回答しなかった者で、「途中でやめた」者）** 【複数回答あり】



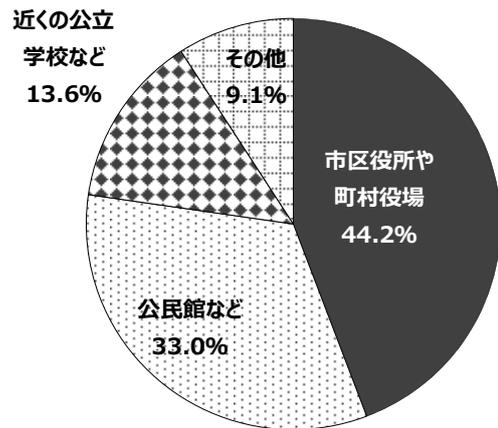
(2) インターネット回答施設の利用希望の有無

- インターネット回答しなかった世帯について、近隣の公共施設等でインターネット回答が可能な場所を設けた場合に、その利用希望の有無をみると、「施設等があっても紙の調査票で回答する」が67.2%を占めている。【図表16】
- また、「施設等があれば回答する」世帯について、具体的に設置してほしい場所をみると、「市区役所や町村役場」が44.2%で最も多く、次いで「公民館など」(33.0%)などとなっている。【図表17】

図表16 インターネット回答施設の利用希望の有無



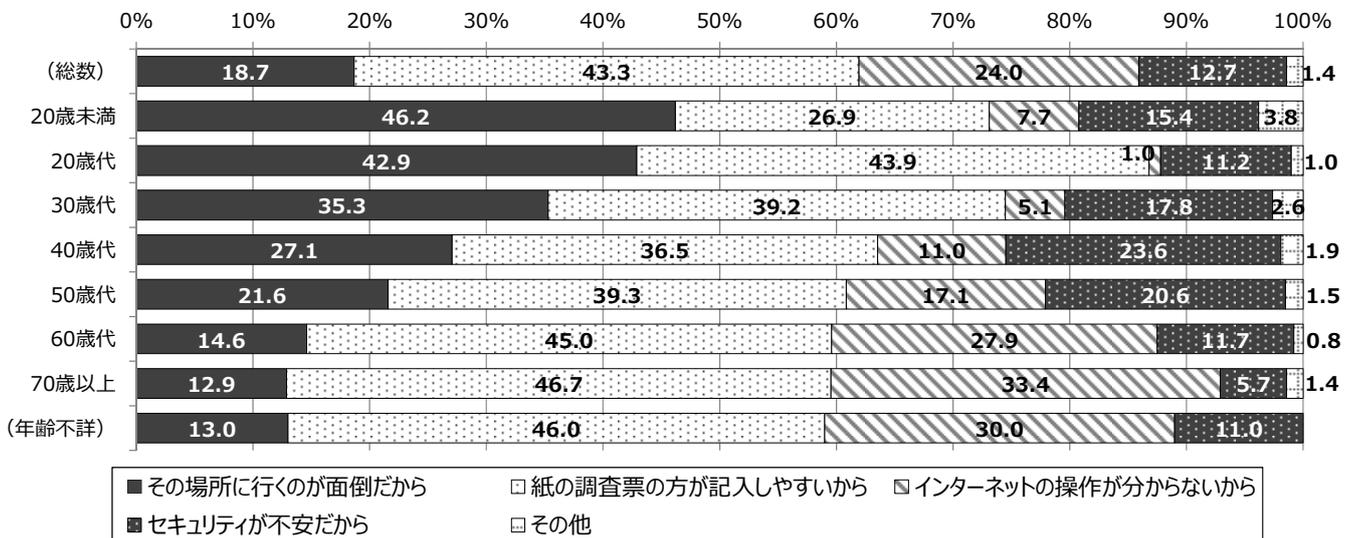
図表17 インターネット回答施設の設置場所【複数回答あり】



- さらに、「施設等があっても紙の調査票で回答する」世帯について、施設等があっても紙の調査票で回答する理由をみると、「紙の調査票の方が記入しやすいから」が43.3%と最も多く、次いで「インターネットの操作が分からないから」が24.0%となっている。

これを年齢階級別にみると、年齢が低いほど「その場所に行くのが面倒だから」の割合が高く、年齢が高いほど「インターネットの操作が分からないから」の割合が高くなっている。【図表18】

図表18 施設等があっても紙の調査票で回答する理由【複数回答あり】





# 平成 27 年国勢調査に関するアンケート

## ～ 総務省統計局からのお願い ～

10 月 1 日現在で実施しました「平成 27 年国勢調査」にご回答いただき、ありがとうございます。

このたび、今後の国勢調査の参考にさせていただくため、全国から一部の世帯の方をお願いして、無記名でお気づきの点などをお聞かせいただくことといたしました。

ご多用のこととは思いますが、この用紙にご記入の上、一緒にお配りした『郵送提出用封筒』（細長い封筒）に入れて、切手をはらずに、11 月 26 日（木）までに、最寄りの郵便ポストに投函していただくようお願いいたします。

なお、ご記入になりにくい項目がありましたら、その項目は未記入のままでも結構ですので、必ずご返送くださるようお願いいたします。

平成 27 年 11 月

総務省統計局

### お問い合わせ先

総務省 統計局 統計調査部 国勢統計課

電話番号 03 (5273) 1152

今年9月から10月に行った「平成27年国勢調査」に関するご意見をお聞かせください。  
 (回答の選択肢が示されているものは、当てはまる番号を○で囲んでください。)

● すべての世帯がお答えください。

**1** 調査関係書類は、調査員が世帯を訪問してお渡しすることを基本にしていますが、単身世帯や共働き世帯の増加により、日中不在がちなため、なかなかお会いできない場合には、調査関係書類を郵便受けなどに入れて配布することとしました。調査関係書類は、どのような方法で受け取りましたか。

- 1 調査員から受け取った
- 2 郵便受けなどに入れてあった
- 3 その他

〔受け取った方法を具体的に書いてください〕

【調査員からどのような説明がありましたか、当てはまるものすべてを選んでください】

- 1 国勢調査の目的や結果の利用
- 2 インターネットの操作方法
- 3 調査票の記入方法
- 4 調査票の提出方法
- 5 その他〔具体的に書いてください〕

**2** 調査票の記入方法などの問い合わせに対応するため、「国勢調査コールセンター」を設置しました。

ア 紙の調査票の記入方法などでわからないことやご質問があった場合、どちらに問い合わせましたか。

【当てはまるものすべてを選んでください】

- 1 コールセンター
- 2 調査員
- 3 市区役所・町村役場
- 4 都道府県庁

- 5 総務省統計局
- 6 その他〔問い合わせ先を具体的に書いてください〕

7 問い合わせや質問の必要は無かった → **3** へ

イ 「ア」で選んだものに対して、どのようなことを問い合わせましたか。

【当てはまるものすべてを選んでください】

- 1 調査の目的
- 2 調査の方法
- 3 インターネットの操作方法
- 4 紙の調査票の記入方法

- 5 調査員の選考方法
- 6 調査員の訪問日時
- 7 その他〔問い合わせた内容を具体的に書いてください〕

ウ 問い合わせやご質問への説明や対応は、いかがでしたか。

【主なものを一つを選んでください】

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満である
- 5 その他〔具体的に書いてください〕

**3** 調査への回答方法は、インターネットで回答する方法のほか、紙の調査票を調査員に提出する方法、郵送で提出する方法※を取り入れました。今回は、どのような方法で回答しましたか、また、次回は、どのような方法で回答したいと思いますか。

※一部の市町村においては、郵送での提出を行っていない場合があります。

今回の回答方法

- 1 インターネットでの回答
- 2 調査員に提出
- 3 郵送で提出
- 4 その他 ( )

【インターネットで回答しようと思った理由はなんですか、あてはまるすべてを選んでください】

- 1 広報・広告を見たから
- 2 簡単・便利と思ったから
- 3 調査員に勧められたから
- 4 その他 ( )

次回の回答方法

- 1 インターネットでの回答
- 2 調査員に提出
- 3 郵送で提出
- 4 その他 ( )

4 国勢調査の広報について、ご意見をお聞かせください。

ア 10月1日の前後2～3か月の間に、平成27年国勢調査に関する広報をご覧になったり、お聞きになったりしたことがありますか。それはどのような種類の広報ですか。

【当てはまるものすべてに○を記入してください】

- 1 見た・聞いた
- 2 見なかった・聞かなかった

<参考>ポスター



	見たもの 聞いたもの
テレビCM	
テレビ番組(ニュース・情報番組など)	
ラジオ	
新聞	
インターネット広告	
インターネットの番組やサイト	
国勢調査キャンペーンサイト	
国勢調査のブログやフェイスブック	
街頭・掲示板ポスター	
勤務先・通学先のポスター	
駅・電車等の交通広告	
街頭イベント	
雑誌	
都道府県・市区町村のホームページ	
垂れ幕・横断幕	
市区町村広報誌(紙)	
回覧版	
その他 ( )	

イ あなたが見聞きした広告の内容について覚えていることがらを、お答えください。

【当てはまるものをすべて選んでください】

- 1 国勢調査が平成27年10月1日に実施されること
- 2 オンライン調査が全国で実施されること
- 3 日本に住むすべての人が対象になること
- 4 調査員が調査票等を持って各世帯に伺うこと
- 5 調査の意義、必要性
- 6 記入内容が保護されること
- 7 報告の義務があること
- 8 国勢調査の実施主体
- 9 広報タレント(織田信成さん、藤原紀香さん、高田純二さん)
- 10 イメージキャラクター(センサスくん、みらいちゃん)
- 11 その他(具体的に )
- 12 (特に覚えてない)

<参考>イメージキャラクター



次のページにつづきます。

● 平成 27 年国勢調査において、紙の調査票で回答された世帯のみお答えください。

5 インターネットで回答しなかった理由をお答えください。また、途中でやめた場合はその理由についてもお答えください。

【当てはまるものを選んでください】

- 1 紙の調査票の方が回答しやすいと思ったから
- 2 パソコンやスマートフォンなど、回答できる機器がなかったから
- 3 「インターネット回答の利用案内」（インターネット回答用 ID・パスワード）をなくしたから
- 4 インターネットで回答できることを知らなかったから
- 5 インターネットで回答することを忘れていたから
- 6 セキュリティが不安だから
- 7 途中までやってみたが、やめた
- 8 その他

（具体的に書いてください）

【その理由について、当てはまるものすべてを選んでください】

- 1 説明資料や画面上の説明がわかりにくかったから
- 2 操作に時間がかかりすぎたから
- 3 エラーが発生して、先に進めなかったから
- 4 紙の調査票の方が、わかりやすかったから
- 5 その他（具体的に書いてください）

6 あなたの世帯の近くにインターネットで回答できる施設等があればインターネットで回答しますか。また、どこにその施設等を設置してほしいですか。

【インターネットで回答できる施設の設置場所について、当てはまるものすべてを選んでください】

- 1 施設等があれば回答する
- 2 施設等があっても紙の調査票で回答する
- 3 どちらとも言えない

- 1 市区役所や町村役場
- 2 公民館など
- 3 近くの公立学校など
- 4 その他（具体的に書いてください）

【施設等があっても調査票で回答する理由について、当てはまるものすべてを選んでください】

- 1 その場所に行くのが面倒だから
- 2 紙の調査票の方が記入しやすいから
- 3 インターネットの操作がわからないから
- 4 セキュリティが不安だから
- 5 その他（具体的に書いてください）

○ あなた（このご意見を記入している方）について

性別 1 男 2 女

年齢 1 20歳未満 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

○ あなたの世帯・住居について

お住まいの地域 都道府県名 \_\_\_\_\_ → 1 政令指定都市 2 他の市町村

世帯の人数 1 1人 2 2人 3 3人以上

◆ 国勢調査についてのご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力いただき、ありがとうございました。